

令和4年度 事業報告

1. 概要

新型コロナウイルスが蔓延し3年を経過し、感染症法上2類から5類への引き下げとなり、国内経済は緩やかな回復傾向にあるものの、未だ道内での経済状況については、その実感を受け止められないところがあります。

令和4年度は東京オリンピックやサッカーワールドカップ日本代表16強、大谷翔平(エンゼルス)や村上宗隆(東京ヤクルト)などのスポーツで盛り上りを見せた半面、北海道では「知床観光船沈没事故」など痛ましい出来事もありました。

町内ではイオル文化交流センター、ノカピライオロ・ビジターセンターのオープンや2年ぶりのすずらん観賞会、全道PKグランプリが開催されました。

令和4年に本格始動した当協会も町補助や委託事業などを受け道内外への積極的なPR活動を実施することができました。

町をはじめ関係機関のご指導、ご支援並びに会員のご協力に対して感謝申し上げ、以下事業概要について報告いたします。

2. 理事

役職名	氏名	事業所名
会長	山口尚之	(株)びらとりミート
副会長	山田隆	びらとり温泉ゆから
副会長	新井貞則	(一社)ウレシパ
理事	平村徹郎	平取町建設協会
理事	杉山邦広	平取町課長職会
監事	鈴木仁人	苫小牧信用金庫平取支店
監事	佐藤和三	平取町副町長

3. 各種会議等開催状況

(1) 総 会

開催年月日	会 議 名	議 件
R4.05.12	令和4年度 (一社)びらとり観光 協会通常総会	1. 令和4年度 事業計画 (案) 2. 令和4年度 計収支予算書 (案) 3. 新規役員選出

(2) 理 事 会

開催年月日	会 議 名	議 件
R4.04.28	第1回 理事会	1. 会員加入 2. 令和4年度通常総会の日程 3. 令和4年度通常総会の議案内容
R4.07.21	第2回 理事会	1. 会員加入 2. 各種事業の進捗状況
R4.11.16	第3回 理事会	1. 会員加入 2. 各種事業の進捗状況 3. 今後の観光協会事務所について
R5.01.24	第4回 理事会	1. 観光協会事務所について 2. 各種事業の進捗状況等

(3) 平取町との協議

開催年月日	会 議 名	議 件
R4.10.24	町理事者との協議	観光協会事務所について (会長出席)
R5.01.11	町理事者との協議	観光協会事務所について (会長出席)

(4) 各種会議

開催年月日	会議名及びイベント	出席者
R4. 04. 27	鶴川・沙流川 WAKUWAKU 協議会策定部会	山口
R4. 04. 28	第1回すずらん観賞会実行委員会	山口・斉藤
R4. 05. 19	平取町道の駅整備検討協議会	斉藤
R4. 06. 27	北海道観光振興機構 通常総会	山口
R4. 05. 30	全国都市緑化北海道フェアに係る打合せ	山口
R4. 07. 04	優駿日高道！！オールひだか魅力発信協議会 (WEB)	山口
R4. 08. 02	チプサンケ実行委員会	山口・斉藤
R4. 12. 14	日高観光ネットワーク	斉藤

(5) 事業活動

I. 観光客誘致事業

各種イベントを通じて本町の魅力ある特産品等を町外に発信し、本町の観光振興、誘客に繋げることを目的に事業実施を行った。

- ①まるまるひがしにほん (埼玉県) 6/14 (火) ~19 (日)
- ②大ほっかいどう祭 (札幌市) 8/ 6 (土) ~ 7 (日)
- ③イランカラプテマルシェ (二風谷) 8/14 (日)
- ④オールひだか魅力発信キャンペーン (札幌市) 9/ 4 (日)
- ⑤オータムフェスタ 2022 第1期 (札幌市) 9/ 9 (金) ~13 (火)
- ⑥オータムフェスタ 2022 第2期 (札幌市) 9/16 (金) ~19 (月)
- ⑦イランカラプテマルシェ (二風谷) 9/23 (日)
- ⑧ツーリズム EXPO ジャパン (東京都) 10/22 (木) ~25 (日)
- ⑨そごう大宮 大北海道物産展 (埼玉県) 10/ 6 (木) ~12 (水)
- ⑩苫小牧信用金庫 まち市 (苫小牧市) 10/22 (土)
- ⑪あびら道の駅 PR 物販 (安平町) 10/29 (土) ~30 (日)
- ⑫ウポポイ ルイカ 2022 (白老町) 11/19 (土) ~20 (日)
- ⑬伝統的工芸品展示会 (札幌市) 12/22 (木) ~23 (金)

II. 観光宣伝と観光客の誘致促進

平取らしい地域資源や豊富な食の魅力等について情報収集を行い、迅速な観光情報の配信を行った。

- ①飲食&土産品パンフレット作製 3,000部
- ②観光うちわ2000部作製（町外イベントでの配布）
- ③HO（ブランドマガジン社）5月号
- ④KUSSUTO 秋号
- ⑤るるぶ北海道 全国版
- ⑥協会ホームページでの情報発信及び Facebook・Twitter・Instagram での発信

III. 観光土産品と観光特産等の紹介、宣伝及び提供

一昨年末販売開始した「ニプタイデラックスクッキー」は約1,660箱の販売に至った。「山の駅ほろしり」は来館者の減少と商品売価の高騰が重なり、売上額は減少した。

IV. 隣接他町との観光連携事業

日高町、むかわ町他との観光広域交流事業の推進を図った。

- ①札幌パルコ「つながる市」 4/23（土）～24（日）
- ②全国都市緑化北海道フェア（苫小牧市） 6/25（土）
- ③平取・むかわ・日高物産展（札幌市） 7/11（月）～12（火）
- ④ホッカイドウ競馬 PR物販（日高町） 11/10（木）
- ⑤平取・むかわ・日高物産展（札幌市） 11/24（木）～25（金）
- ⑥駅×灯×グルメ祭り（日高町） 2023/ 2/11（土）
- ⑦平取・むかわ・日高物産展（札幌市） 2/14（火）～15（水）

V. 観光諸行事の協力

すずらん観賞会協業／チプサンケ協業／びらとり食の祭典代替事業一部委託
義経雪あかり協力

VI. 平取町や地域団体の地域振興事業の受託

アイヌ政策推進交付金事業では2事業、町委託事業では1事業、観光振興機構事業は1事業の受託をした。

1) アイヌ文化情報発信事業

①ゴールデンカムイ謎解きイベント【消えた少女の謎】

日 時：令和4年7月23日（土）～10月2日（日）

参加実績：1,828名（ゲームブック配布数）／831名（アンケート結果）

広告カウント数：6月24日投稿 ツイッター

インプレッション数 15万

リンククリック数 4,039

ページアクセス数：観光協会ページ 5,286

②食文化体験

9/11（日）シト団子 100食配布

事業効果

中若年層をターゲットとして実施した「TVアニメ ゴールデンカムイ」を活用した謎解きイベントは、昨年実施の非接触型から従前から実施していたブックスタイルに変更し感染対策を実施しながら地域との触れ合いに重点を置き実施した。参加者は昨年と比較し大きく増加した。配布したゲームブックは約1900セットとなり予定していた1000セットを大きく超え増刷することとなった。アンケート数も831の回答となり大変重要な意見を回収することも出来た。

アンケート集計結果では、目的の一つである30～40代の中年年齢層の参加は約56%と半数以上を占め、10～20代を含めると75%を超えていることから若い世代に平取町を認知してもらい、アイヌ文化を学ぶことで一つも目的は達成できている。

各事業所の入込数について下記のとおり

7月23日（土）～10月2日（日） 72日間

	参加者	ウレシバ	歴史館	博物館	工芸館	茂資料館	男の手仕事	女の手仕事
	ゲームブック 配布数	スタート・ゴ ール	謎解き ポイント	謎解き ポイント	謎解き ポイント	謎解き ポイント	謎解き 掲示	謎解き 掲示
合 計	1,828	2,989	7,590	8,277	8,065	2,958	2,410	3,118
前 年 同時期	675	970	279	3,316	3,469	1,569	1,717	1,071
比 較	270%	308%	2720%	250%	232%	189%	140%	291%

※令和3年度は緊急事態宣言があり閉館期間が8月27日～9月30日まで閉館している施設もあり。

今年度も全国各地に広がる新型コロナウイルスの影響はあったものの、感染対策と経済対策の両輪の実施が数値として現れる結果となった。次年度も今年度同様にグリーンシーズンに長期的に事業実施をすることで、潜在的にいる観光客へアイヌ文化の魅力を発信することが費用対効果としても望ましい。今後は「ゴールデンカムイ」実写化によりファンのみならず、全国的に平取町に注目が集まると考えられイベントを開催するとより多くの人々が来訪すると考えられる。

2) アイヌ文化×食×回遊コンテンツの磨き上げ事業

①ミナミナチケット事業

期 間：令和4年6月18日（土）～令和4年10月31日（月）

参加事業所：9事業所

販売セット数：604セット

②アイヌ民具コレクションカード事業

期 間：令和4年7月23日（土）～なくなり次第終了

参加事業所：19事業所

カード種類：全12種

事業効果

ミナミナチケット事業については、今回セタップクサ号（アイヌ文化交流促進バス事業）と連携し、二風谷地区に使用を限定することでバス利用者へのチケット使用を促進した。

利用実績から土産×土産が約 23.4%、体験×体験が約 16.8%、温泉×温泉が約 10.0%の順となったことから、多くの利用者が同カテゴリー（同加盟店）での利用。このことにより、利用者のニーズとしては同じ販売店での購買意欲があることが分かると同時に、この事業での事業所を回遊する目的と解離してしまっていることとなる。

参加店によっては「チケット利用が多く、また金額以上の買い物をしている」との声を頂いているが、利用枚数が少ない加盟店もあることから、このチケット事業としてのある一定の目的は果たしたと考えられる。

W チャンスによる利用実態の把握としては、336 枚の応募があり、道内者利用が 72.6%となり、前回 82.2%から 9.6%減少する結果となった。よって道外利用者が 27.4%と増加した結果として、バスツアーでの利用も大きいことで、コロナ渦でも町内にも道外旅行者が増えているという証明となった。

二風谷アイヌ民具コレクションカード事業については、予想を遥かに超えるペースでの配布となり、約 1 ヶ月程度で予定していた作成した 7,400 枚を配布し終了した。要因としては、今回の開催期間（グリーンシーズン）に、「アイヌ文化の魅力発信事業」や「アイヌ文化交流促進バス事業」などを重ねたことにより、来町者が多かったことが挙げられる。

カード配布のみならず、カードを 5 枚以上集めて SNS で投稿することにより、オリジナルグッズ等の W チャンスを実施。12 枚コンプリートも 2 名 SNS に挙げており、その他も 30 名以上の方が W チャンスへ参加があった。

3) 平取町観光 PR 事業

事業効果

今年度、コロナウイルスの影響も少なくなりイベント等も 3 年ぶりに解禁されてきた。感染対策や、イベント参加者の意識、理解も進んでおり、安全と感染対策を徹底しながら、様々な町外イベントに出店することが出来た。

本事業では、当初予定していたイベント以外にも効果的にプロモーションを実施できるイベントに出展することで、平取町の食材の PR のみならず、観光プロモーション、ふるさと納税 PR など様々な角度からアプローチをかけることが出来た。

食のイベントに関しては、平取町の食材を当町に来られない方に食していただき、これを機会に足を運んでもらえるキッカケになろうかと思う。また、SNS で投稿することが多く、更なる情報発信となっていると感じる。

物販 PR では「びらとり和牛」や「びらとりトマト」の購買だけではなく、同時にふるさと納税パンフレットや当会の作成している食と土産のパンフレットを配布することで、より当町に興味を抱いてもらう仕組みとしている。

観光は見るだけではなく食することをメインとする旅行形態になっており、そこから体験などが組み合わさりツアーとなっていく。今度は平取町を訪れたいという感想を持たれた方もいた。その一方で、平取がこんなに特産品がありアイヌ文化などを説明すると、道内では名前は聞いたことがあったけど、場所はわからなかった、道外では名前も場所も知らないなど、認知度がまだまだ低いことがうかがえる。そんな中、本事業を継続的に実施することで、情報の拡散だけではなく、実際の来訪にもつながることを実感した。一人でも多くの方に食を活かしたイベントから、誘客へ繋がっていくと考える。

4) 北海道観光振興機構補助事業

「日本一の群生地！すずらんツーリズム推進事業」

新型コロナウイルスの影響による観光入込数の減少と、「すずらん」による観光客数の低水位での横ばい状態にあることから、「すずらん」をテーマとしブランディングし認知度を向上させた観光地づくり「すずらんツーリズム」を推進させることにより、来訪者を増やし地域経済効果を高めていく事業を実施した。

事業内容

①観光ルート開発数2コース作成及びモニターツアー実施

日帰り：10月23日（9名参加）

1泊2日：10月30日～31日（6名参加）

②すずらん体験メニュー開発

「すずらんキャンドル製作体験」「ミニすずらんフィギュア製作体験」
「すずらんランチ」(ピタパン)「すずらん万華鏡」

③アンケート用パンフレットの作成

パンフレット数：1,300枚

アンケート回収：165枚

等

事業効果

アンケートの分析では平取町へ来訪したことがある人が意外と多くいるが、すずらん群生地に行ったことがある人は少ないことにより、更なるPRが必要。PRの手法も一つに絞るのではなく、アナログ(紙媒体)デジタル(SNSなど)の両面でPRしていく必要がある。観光客の知らない情報、例えば赤い実をつけることが知らない人が多く見られたため、それを題材にコンテンツを造成してもよいと考える。

「すずらん群生地」の現状を知ってもらい、保全活動への関心を持ってもらうことにより、周辺地区の自然環境の素晴らしさが新たな観光資源と評価され、関係人口を増やすものになりえる可能性を確認できた。

また、特産品ではアクセサリなどの意見が多く女性向けの商品開発が必要と思われる。

当事業は「すずらん」のみではインパクトに欠けると考える人が多いため、次年度はアイヌ文化、開拓歴史文化などカルチャーツーリズムへ発展させていくべきである。

(7) 地域貢献事業(新入学児童への記念品贈呈)

全町5小学校 26名、平取養護学校入学(小・中・高) 19名

(8) 観光アンケート事業の実施

平取町知ってよ!キャンペーン!!の実施

アンケート期間:令和5年1月17日(火)~3月31日(金)

アンケート数:1,027件

ページビュー数:2,229view

(9) 他産業との協同振興事業

オジュウチョウサンチャンピオンカードの実施

配布日時：令和4年7月8日（土）～

カード種類：3種（16' 中山GJ（G1初勝利）、18'

南部特別（平場）、22' 中山GJ）

枚数：各種500枚、計1,500枚を作成

加盟店数：飲食店8店